

電子カルテに頼らない双方向の情報共有システムを構築する「さどひまわりネット」 (特定非営利活動法人佐渡地域医療連携推進協議会)

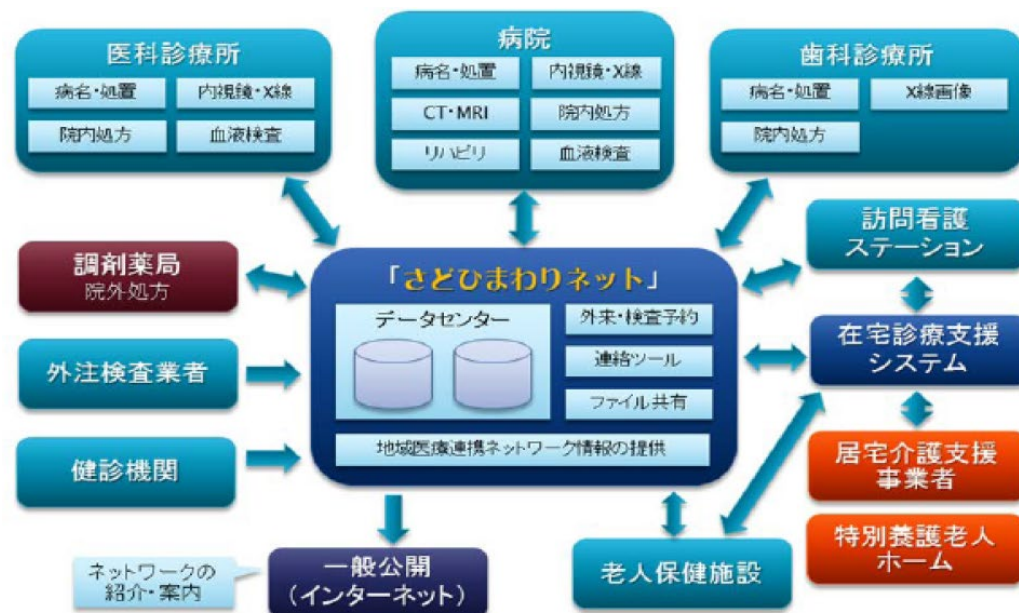
事業概要

高齢化40%を超え、医療・介護資源が乏しい離島において、激変する医療に伴う複雑な疾患管理、複数職種の入が必要となる高齢者への対応が大きな課題である。電子カルテに頼らずに医療情報を自動収集し、施設規模を問わず双方向に情報共有するネットワークシステムと、ICTを離れた「オフ会」を開催しながら、コミュニケーションをベースとした協働を可能とする体制を構築。

➡ 診療時のリスクを軽減し、安全で質の高い医療・介護サービスの提供に寄与。

医療・介護連携の基礎となる情報共有とコミュニケーション環境の構築

- ・連携システムの活用によるリスク回避
- ・多職種が集う「オフ会」を通じた実コミュニケーションの実現
- ・蓄積されたデータの二次利用(今後の期待)
- ・パッケージ化による他地域への展開



事業詳細

事業名称	佐渡地域医療連携ネットワーク「さどひまわりネット」		
事業主体	特定非営利活動法人佐渡地域医療連携推進協議会		
支援省庁	厚生労働省	支援事業名	地域医療再生臨時特例交付金(H21 地域医療再生基金)
関係団体			

実績・効果

◆R2. 9. 1現在の患者同意数／参加施設数

患者同意数	16,281人
佐渡市人口	53,437人
同意率	30.5%

	全施設	病院	医科診療所	歯科診療所	調剤薬局	介護・福祉施設	その他
参加施設数	80	5	14	5	17	38	1
全施設数	—	5	20	20	—	—	—
参加率	—	100%	70%	25%	—	—	—